

令和3年4月14日アンケート結果

Q1 事業所が現在実施している障害福祉サービス等についての課題（困りごとや迷いごと）

- ・生活介護の送迎時間では早すぎて困ると言う意見を聞きます。日中一時で対応していますが…
養護学校の教員配置だからこそ出来るが生活介護人員配置ではそこまで難しい。（重症心身障害者通所施設かなえ）
- ・報酬体系の見直しにより施設外就労加算等の加算が無くなりましたがどうされていますか。（こなんSSN・わかたけ）
- ・GH開設に当たり職員採用を進めていますがまだ確保出来ていません。人材紹介会社の採用コスト。（スマイルくさつ）
- ・障害特性に応じた環境整備を行いたい但しパーソナルスペース確保やパーテーション設置が難しい。
B型作業所の飽和・利用者の確保・障害特性のバラつき。区分認定により加算を上げて欲しい。（にぎやか工房）
- ・新型コロナにて通所自粛した利用者の介護等給付算定につき、昨年とは基準が変わり施設で実施している活動を自宅で行うこと等が算定要件になっているようですが取組みを教えてください。（にぎやか塾）
- ・就労移行事業所の方、求職活動をされている利用者に対してナビゲーションシーは作成されていますか。また、ハローワークの就労パスポートは活用されていますか。（滋賀県障害者雇用センター）
- ・人材確保・育成。（若竹・山寺作業所）
- ・生活介護の重度の利用者の一日の過ごし方。（生活介護事業所あゆみ）
- ・授産活動・日中活動の内容や工夫する点。（ワークステーションわかたけ）
- ・就労移行はインセンティブによる加算幅が大きく卒業生の有無人数により運営が不安定。無期限のB型からの就職を目指す方の低リスク。（ワークステーションわかたけ）
- ・体調を崩した職員がおり人員不足。取引会社の受注数の減少。（滋賀県社会就労事業振興センター）
- ・他市では就労アセスメント無しで通所出来るシステムがありますが草津市はどうですか。精神障害者の事業所への交通費は半額負担は大きい。（フリータイム）

Q2 令和3年度の各行事やイベント開催に当たりどのような対応されますか

- ・今のところイベントの予定が立てにくく外出等の事業は実施しません。（重症心身障害者通所施設かなえ）
- ・秋まつり・バス旅行はコロナの状況に応じて中止を視野に入れて対応。（こなんSSN）
- ・各行事等検討中。（スマイルくさつ）
- ・課外活動については感染状況に応じて当面自粛。出店行事も中止。施設内活動を主に行う。（にぎやか工房）
- ・10月の一泊旅行についてはこのままの状態では実施は難しい。（にぎやか塾）
- ・施設外での活動自粛。余暇活動等は施設内で取組み。一泊旅行は今年度中止。（滋賀県障害者雇用支援センター）
- ・イベント内容やコロナ感染状況により参加の有無を判断しますが基本的には中止もしくは縮小。（若竹・山寺作業所）
- ・入所式・保護者会・団体での事業所見学会は開催無し。（生活介護事業所あゆみ）
- ・卒業生OB会は開催予定。体調チェック等対策・密にならないよう少人数で活動。（ワークステーションわかたけ）
- ・全面中止ではなく、実施できる方策を検討しています。（ワークステーションわかたけ）
- ・滋賀県から示された『イベント開催における新型コロナウイルス感染予防対策について』を参照している。
（滋賀県社会就労事業振興センター）
- ・外出、調理活動、レクリエーション、文化施設、運動施設は中止した活動。誕生会、買い物は素早く行い内容変更。
通所できない人への訪問は追加活動した項目。（フリータイム）

Q3 草津地区障害者施設連絡協議会に期待すること

- ・市内事業所との繋がりや情報交換（新型コロナウイルス対策やワクチン接種方法等）。他事業所の見学や紹介などしてもらい機会があれば。
（重症心身障害者通所施設かなえ・スマイルくさつ・にぎやか工房・にぎやか塾・滋賀県障害者雇用支援センター・若竹・山寺作業所・ワークステーションわかたけ）
- ・県からの優先調達の事業について仕組みは活用したいが依頼が大きく一つの事業所では対応できず参加出来ないで草津連絡協議会を通じて県や市に参加しやすい仕組みの調整。（こなんSSN）
- ・何か問題が起きた時の相談したり、いつでも意見やアドバイス頂けるな機関で欲しい。（生活介護事業所あゆみ）
- ・事例検討会等、職員のスキルアップを目的とした勉強会。（ワークステーションわかたけ）